

2024年 通常総会 議案資料

日 時 : 2024年3月26日(火) 16:00～17:00

場 所 : 東京大学 本郷キャンパス 工学部2号館 1階212号講義室

16:00～17:00 通常総会

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事
 - 第1号議案 議事録署名人の選出
 - 第2号議案 2023年度 事業報告
 - 第3号議案 2023年度 収支決算報告
 - 第4号議案 2024年度 事業計画
 - 第5号議案 2024年度 収支予算
 - 第6号議案 2024年度 理事および監事の選出
4. 閉会

17:00～ フェロー贈呈式/学術奨励賞授与式



特定非営利活動法人
日本バーチャルリアリティ学会

第1号議案 議事録署名人の選出

理事から2名を議事録署名人に選任します。

第2号議案 2023年度 事業報告

2023年度は、例年の主要行事である第28回目となる大会を東京都立多摩産業交流センター東京たま未来メッセ(開催校東京都立大学)で開催しました。

1. 会員に関する事項

2023年度は、1996年に学会が発足して以来28年目に入り、引き続き、各種行事、学会ホームページなどにおいて、入会者の勧誘を行いました。賛助会員の新規加入は3社を得、正会員61名・学生会員244名の入会がありました。また、2023年通常総会議決により、正会員34名・学生会員6名を会員資格喪失(定款第9条 会費未納)とさせて頂きました。

	正会員	学生会員	賛助会員
1996年度末数	381	100	31
1997年度末数	497	149	38
1998年度末数	578	172	38
1999年度末数	628	205	38
2000年度末数	692	228	37
2001年度末数	686	230	34
2002年度末数	761	257	33
2003年度末数	788	265	30
2004年度末数	844	273	26
2005年度末数	828	269	21
2006年度末数	869	191	23
2007年度末数	835	268	23
2008年度末数	832	281	23
2009年度末数	842	263	22
2010年度末数	855	307	18
2011年度末数	848	361	20
2012年度末数	853	341	20
2013年度末数	857	312	20
2014年度末数	867	307	18
2015年度末数	900	303	19
2016年度末数	960	335	34
2017年度末数	1033	383	40
2018年度末数	1078	379	40
2019年度末数	1047	453	41
2020年度末数	1113	378	37
2021年度末数	1132	430	40
2022年度末数	1145	532	41
2023年度末数	1152	577	41
2023年度目標	1162	535	43
2023年度目標との差	▲10	42	▲2

2. 広報・出版に関する事項

(1) 学会誌

2023年度は、学会誌を3月、6月、9月、12月と年間4回発行しました。また、発刊と同時にJ-STAGEに記事(理事会だより等の学会記録部分を除く)を公開しています。過去記事については、第11巻以降のもので許諾が取れているものを暫時J-STAGEにて公開して行きます(Vol.10までは昨年度公開済み)。

	特集内容
Vol.28, No.1	IVRC30周年記念特集
Vol.28, No.2	ACT-X 数理・情報のフロンティア―若手研究者の成長物語―
Vol.28, No.3	グローバルな研究者像を探る
Vol.28, No.4	第28回大会報告

(2) 論文誌

2023年度は、論文誌を3月、6月、9月、12月と年間4回発行しました。4分野の特集を企画し、特定域の成果を一覧できるように致しました。本年度の特集内容と掲載された論文数は以下の通りです。

	特集内容	特集 投稿(採録数)	一般 採録数
Vol.28, No.1	つなぐ技術(人・モノ・社会)3	13(7)	1
Vol.28, No.2	アート+エンタテインメント6	17(7)	1
Vol.28, No.3	複合現実感9	14(7)	5
Vol.28, No.4	社会とハプティクス	15(10)	2

種類	基礎論文	応用論文	コンテンツ 論文	総説論文	ショート ペーパー	計
論文数	24	7	1	2	6	40

(3) ニュースレター

会員宛てに月1回(年12回)、電子メールによるニュースレターの送付を行いました。同様に、学会WEBサイトへの投稿を行いました。内容は、1. 報告集 2. 学会からのお知らせ主催・共催行事のご案内／協賛行事のご案内／論文誌に関するご案内 3. 会員便り 4. 関連情報CALL FOR PAPER／CALL FOR PARTICIPATION／ニュースレター編集委員会からのお知らせなどで構成され、バーチャルリアリティに関する国内外の情報を中心に情報提供を行いました。

(4) 電子広報

学会ホームページにて、年次大会、VR技術者認定制度、各種会議、論文誌特集等の情報を随時更新、また学会誌のバックナンバーを公開しております。[\(https://vrsj.org/\)](https://vrsj.org/)

3. 主催・共催事業に関する事項

2023年度に主催・共催した事業は以下となります。(■主催事業・□共催事業)

■ 第28日本バーチャルリアリティ学会大会

- 会期 2023年9月12日(火)-14日(木)
- 会場 東京たま未来メッセ
- 発表件数
 - 一般 290件(口頭 251件, OS 14件, IVRC 25件)
 - 展示 82件(技術・芸術展示 75件, OS展示 3件12ブース, プロジェクト 4件) (総計372件)
 - 特別講演 3件(特別講演2件, ドーナツトーク1件)
 - 企業展示13社(企業セミナー2社)
- 口頭発表会場数 4室 中継視聴室1室
- 参加者数
 - 正会員 230
 - 正会員(上級)6
 - 正会員(上級・減免)4
 - 学生会員 255(登壇者178, 聴講のみ(事前)42)
 - 学生会員(IVRC)63
 - 非会員(一般)126
 - 非会員(学生) 163

OS参加非会員 20(一般19,学生1)

ジュニア参加(学生)43

賛助会員 展示+聴講 96(聴講66, 展示30)

招待参加者 23

(総計1029 (昨年692))

※会場には連日800程度の参加者がいたと思われる

※オンラインからの参加者数は不明

■ 「第31回 IVRC (Interverse Virtual Reality Challenge)」

- SEED STAGE: 9月12日～14日 日本バーチャルリアリティ学会大会内 25作品を展示
- LEAP STAGE: 11月18日～19日 テレコムセンター
SEED STAGE通過作品9作品 ・Laval Virtual 招待作品1作品 がLEAP STAGEに出展した。

■ 文化・芸術

2023年度は下記の要領でVR文化フォーラムを開催をいたしました。

- 2024年2月23日「MOTアニュアル×VR文化フォーラム」東京都現代美術館 講堂
現美のweb <https://www.mot-art-museum.jp/events/2024/02/20240214164954/>
- 参加者数
 - 事前登録 学会員(と一部 関係者):22名
 - 当日実際に参加された 学会員(と一部 関係者):16名
 - 一般の参加者を含む全参加者数:数十名

■ ICAT-EGVE 2023

- <https://icat-egve-2023.org/>
- 6 - 8 December, 2023
- Trinity College Dublin, Ireland
- General Chairs
 - Michael Manzke - Trinity College Dublin, Ireland
 - John Dingliana - Trinity College Dublin, Ireland
- Program Chairs
 - Jean-Marie Normand - Ecole Centrale de Nantes, France
 - Maki Sugimoto - Keio University, Japan
 - Veronica Sundstedt - Blekinge Institute of Technology, Sweden
- Posters/Demo Chairs
 - Abey Campbell - University College Dublin, Ireland
 - Claudia Krogmeier - INRIA, France
 - Gareth Young - Trinity College Dublin, Ireland
 - Paper Submission Deadline: August 18 September 15, 2023
 - Paper Submission Notification: October 21, 2023
 - Poster / Demo Submission Deadline: October 6, 2023
 - Poster / Demo Submission Notification: October 28, 2023
 - 論文投稿49件, 採択20件, 採択率40.8%

□ 高臨場感ディスプレイフォーラム2023

2023年11月24日に大田区民ホール・アプリコ(小ホール)で開催
テーマ「～実世界のメディア化と高臨場感表現～」

4. 企画事業に関する事項

2023年度に企画した事業は以下となります。

(1) 研究委員会

計17の研究委員会が下表のように会員に公開する研究会(含, 他学会との共催), OS, 講演会, シンポジウム, 書籍編集などを実施しました。

研究委員会名	研究会等の開催回数	備考
サイバースペースと仮想都市研究委員会	5	継続
複合現実感研究委員会	7	継続

アート&エンタテインメント研究委員会	2	継続
VR心理学研究委員会	3	継続
テレ-immersion技術研究委員会	5	継続
香り・味と生体情報研究委員会	4	継続
拡張認知インタフェース調査研究委員会	12	継続
ハプティクス研究委員会	5	継続
情報技術と文化の融合調査研究委員会	2	継続
3次元ユーザインタフェース研究委員会	1	終了
デジタルミュージアム研究委員会	1	継続
VRと超臨場感研究委員会	2	継続
テレイグジスタンス研究委員会	2	継続
超高齢社会のVR活用研究委員会	2	継続
人間拡張研究委員会	3	継続
神経刺激インターフェース研究委員会	3	継続
サービスVR研究委員会	1	継続

(2) VR技術者認定講習会・試験

第22回と第23回の講習会・試験をそれぞれオンラインで実施しました。

第22回(セオリーコース)

講習会 6月18日 申込者 93名

試験 7月16日 受験者 144名

第23回(アプリケーションコース)

講習会 11月11日 申込者 57名

試験 12月9日 受験者 121名

(3) 各種ワーキンググループ

- 未来ビジョンワーキンググループ
大会においてOSを実施いたしました。
VRを活用するメタバースコミュニティの理解にむけて(未来ビジョンWG)
- 倫理ワーキンググループ
大会OSを実施し、各大学での倫理審査情報を共有し、VRに関する倫理審査の状況について話し合いました。
- ホームページ刷新ワーキンググループ
VR学会ウェブページの刷新について、全面リニューアル案のドラフト案を作成しました。

5. 会議に関する事項 総会

2023年通常総会を3月22日に東京大学においてオンライン併設で行いました。

(1) 理事会

合計6回の理事会を開催いたしました。開催日程は次の通りです。

理事会のない月に会長・副会長及び総務・経理担当者および監事による総務会議を開催致しました。

回	開催日	会場	主な議事
189	1月18日	オンライン	通常総会準備, 大会概要, フェロー選考報告, 各担当理事報告, 寄付報告
190	3月1日	オンライン	新年度役員, 通常総会資料, 2022決算承認, 2023予算の提出, 各担当理事報告
191	5月22日	オンライン	第28回大会開催について, 論文賞選考, WG新設, 各担当理事報告
192	7月18日	オンライン	論文賞選考, 第28回大会, 各担当理事報告
193	9月12日	東京たま未来メッセ オンライン併設	第28回大会報告, 各担当理事報告
194	11月29日	オンライン	通常総会・役員選挙スケジュール確認, 第28回大会開催報告, 学術奨励賞結果報告, 各担当理事報告

(2) 評議員会

回	開催日	会場	主な議事
1	3月29日	東京大学	年間報告・計画について
2	9月12日	東京たま未来メッセ	年間報告・計画について

6. 表彰に関する事項

(1) フェロー

日本バーチャルリアリティ学会フェローは、バーチャルリアリティの学術文化および本会の発展に顕著な貢献を成し、将来にわたって本会の活動を積極的に推進しうる者を顕彰するために、2010年度から称号授与が始められました。本制度は、会員による推薦に基づいており、2023年度の推薦書より、日本バーチャルリアリティ学会の活動に多大な貢献をなした以下の1名に贈呈することを決定致しました。

串山 久美子(東京都立大学)

(2) 論文賞

論文誌Vol.27No.1 からVol.27No.4に掲載された論文の中から優秀な論文を選考し、5件の論文に論文賞を贈呈致しました。

- 旋回ゲインを用いたリダイレクテッドウォーキング
(論文誌, Vol.27, No1 p. 76-86, 2022) 松本啓吾, 鳴海拓志, 廣瀬通孝
- 多感覚の統合的認知の基礎と感覚提示インタフェースへの応用可能性
(論文誌, Vol.27, No1 p. 18-28, 2022) 大野雅貴, 横澤一彦, 鳴海 拓志
- 柔軟球の対向運動による硬さ・曲率変調
(論文誌, Vol.27, No3 p. 245-253, 2022) 竹内将大, 金子征太郎, 梶本裕之
- エージェントの表情変化により生起する力覚の評価
(論文誌, Vol.27, No4 p. 283-290, 2022) 松山菜々, 松田壮一郎, 蜂須拓
- 自己身体認識がVR空間内の運動パフォーマンスに及ぼす影響
(論文誌, Vol.27, No4 p. 291-300, 2022) 湯村颯悟, 蒲池 みゆき

(3) 学術奨励賞

第28回日本バーチャルリアリティ学会大会で優秀な発表を行った若手講演者9名に対して、学術奨励賞を贈呈することを決定致しました。

口頭発表部門

- 観測視点・対象運動・投影解像度に応じて計算負荷を削減するパストレーシング型ダイナミックプロジェクションマッピング
羽山 大智(東京工業大学)
- 異なる力覚錯覚の刺激間時間差が知覚強度に与える影響
納藤 拓哉(東京大学)
- VR映像での3人称視点導入による映像酔い感の低減と空間認知の向上
前澤 知輝(NHK)
- 記憶の長期定着を目的としたVR教材の設計と教育効果の検証
須藤 隼人(学校法人角川ドワンゴ学園S高等学校)
- イベントデータのみを用いた三次元人物姿勢および形状推定

堀 涼介(慶応義塾大学)

技術・芸術展示部門

- **BrickDisplay**: 視差映像ディスプレイの分散配置による欠損を許した巨大空中像提示
三河 祐梨(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)
- 手のヒッチハイク: VRにおける視線を用いた複数バーチャルハンドの切り替え
伴 玲吾(東京大学)
- 映像投影を用いた紙媒体の秘匿と選択的視覚化に関する基礎検討
阪口 紗季(東京都立大学)
- 不可視要素を可視化したVR理科教材の構築と自習用途としての評価
藤原 美樂(秋田県立大学)

第3号議案

2023年度 収支決算報告

1. 貸借対照表

貸借対照表

2023年12月31日現在

特定非営利活動法人 日本バーチャルリアリティ学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	81,898,185	82,854,463	△ 956,278
未収金	3,490,950	2,944,714	546,236
前払金	200,000	0	200,000
貯蔵品	955,384	430,897	524,487
前払費用	3,258	2,814	444
流動資産合計	86,547,777	86,232,888	314,889
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
事務局準備金	20,000,000	20,000,000	0
国際会議準備金	13,800,000	13,800,000	0
国内会議準備金	9,000,000	9,000,000	0
資料編集・出版準備金	1,800,000	1,800,000	0
チャイルドケア基金	1,000,000	0	1,000,000
I V R C 基金	1,000,000	0	1,000,000
特定資産合計	46,600,000	44,600,000	2,000,000
固定資産合計	46,600,000	44,600,000	2,000,000
資産合計	133,147,777	130,832,888	2,314,889
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,840,696	7,430,361	△ 1,589,665
前受金	263,000	276,000	△ 13,000
預り金	18,599	10,398	8,201
未払法人税等	565,000	706,500	△ 141,500
未払消費税等	122,100	756,200	△ 634,100
流動負債合計	6,809,395	9,179,459	△ 2,370,064
負債合計	6,809,395	9,179,459	△ 2,370,064
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	126,338,382	121,653,429	4,684,953
正味財産合計	126,338,382	121,653,429	4,684,953
負債及び正味財産合計	133,147,777	130,832,888	2,314,889

2. 正味財産増減計算書

正味財産増減計算書

2023年 1月 1日から2023年12月31日まで

特定非営利活動法人 日本バーチャルリアリティ学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	936,000	1,068,000	△ 132,000
受取会費	17,042,000	17,175,000	△ 133,000
正会員会費	10,394,000	10,726,000	△ 332,000
学生会員会費	1,853,000	1,814,000	39,000
賛助会員会費	4,000,000	4,100,000	△ 100,000
一般会員会費	330,000	30,000	300,000
購読会員会費	465,000	505,000	△ 40,000
事業収入	28,049,603	30,165,794	△ 2,116,191
年次大会	15,094,650	9,226,000	5,868,650
IVRC	3,500,035	2,100,022	1,400,013
AHs	0	1,065,002	△ 1,065,002
ICAT	0	3,115,000	△ 3,115,000
科研費助成金	0	1,200,002	△ 1,200,002
通常総会収入	60,000	0	60,000
研究委員会活動収入	928,058	1,186,508	△ 258,450
講習会収入	3,454,120	5,606,500	△ 2,152,380
出版収入	5,012,740	6,666,760	△ 1,654,020
論文誌投稿料収入	4,240,000	4,645,000	△ 405,000
その他出版物収入	772,740	2,021,760	△ 1,249,020
その他収入	400,813	1,143,562	△ 742,749
雑収入	399,920	135,670	264,250
受取利息	893	892	1
寄付金	0	1,007,000	△ 1,007,000
経常収益計	46,428,416	49,552,356	△ 3,123,940
(2) 経常費用			
事業費	31,817,978	30,005,764	1,812,214
通常総会費	375,040	92,675	282,365
年次大会費	12,516,044	6,796,553	5,719,491
IVRC	4,412,499	3,652,856	759,643
AHs	0	795,968	△ 795,968
ICAT	0	3,012,755	△ 3,012,755
科研費	0	1,200,002	△ 1,200,002
研究委員会活動費	1,826,769	1,706,478	120,291
支払負担金	12,000	12,000	0
講習会費	4,562,082	4,762,059	△ 199,977
WG経費	65,895	0	65,895
出版事業費	6,239,519	7,260,679	△ 1,021,160
学会誌	4,231,342	4,981,070	△ 749,728
論文誌	1,577,280	1,803,828	△ 226,548
その他刊行費	430,897	475,781	△ 44,884
授与費	818,130	713,739	104,391
学会ウェブシステム構築費	990,000	0	990,000
管理費	9,360,485	9,540,778	△ 180,293
印刷費	3,976	4,768	△ 792
消耗品費	20,988	18,700	2,288
諸会費	55,000	50,000	5,000
通信運搬費	189,655	249,614	△ 59,959
情報システム管理費	897,623	878,243	19,380
電子広報費	165,000	165,000	0
会議費	105,794	121,743	△ 15,949
支払手数料費	467,048	266,443	200,605
租税公課	500,233	758,043	△ 257,810
事務局運営費	6,955,168	7,028,224	△ 73,056
その他	0	391,910	△ 391,910
雑費	0	391,910	△ 391,910
経常費用計	41,178,463	39,938,452	1,240,011
評価損益等調整前当期経常増減額	5,249,953	9,613,904	△ 4,363,951
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	5,249,953	9,613,904	△ 4,363,951
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	5,249,953	9,613,904	△ 4,363,951
法人税、住民税及び事業税	565,000	706,500	△ 141,500
当期一般正味財産増減額	4,684,953	8,907,404	△ 4,222,451
一般正味財産期首残高	121,653,429	112,746,025	8,907,404
一般正味財産期末残高	126,338,382	121,653,429	4,684,953
II 正味財産期末残高	126,338,382	121,653,429	4,684,953

3. 予算対比正味財産増減計算書

予算対比正味財産増減計算書

2023年 1月 1日から2023年12月31日まで

特定非営利活動法人 日本バーチャルリアリティ学会

(単位: 円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	900,000	936,000	△ 36,000
受取会費	17,037,000	17,042,000	△ 5,000
正会員会費	10,555,000	10,394,000	161,000
学生会員会費	1,812,000	1,853,000	△ 41,000
賛助会員会費	4,100,000	4,000,000	100,000
一般会員会費	40,000	330,000	△ 290,000
購読会員会費	530,000	465,000	65,000
事業収入	24,682,500	28,049,603	△ 3,367,103
年次大会	8,745,000	15,094,650	△ 6,349,650
IVRC	2,700,000	3,500,035	△ 800,035
通常総会収入	80,000	60,000	20,000
研究委員会活動収入	547,500	928,058	△ 380,558
講習会収入	5,600,000	3,454,120	2,145,880
出版収入	7,010,000	5,012,740	1,997,260
過去会誌頒布収入	10,000	0	10,000
論文誌投稿料収入	5,000,000	4,240,000	760,000
その他出版物収入	2,000,000	772,740	1,227,260
その他収入	156,000	400,813	△ 244,813
雑収入	155,000	399,920	△ 244,920
受取利息	1,000	893	107
経常収益計	42,775,500	46,428,416	△ 3,652,916
(2) 経常費用			
事業費	32,586,300	31,817,978	768,322
通常総会費	300,000	375,040	△ 75,040
年次大会費	9,800,000	12,516,044	△ 2,716,044
IVRC	4,746,100	4,412,499	333,601
研究委員会活動費	1,782,200	1,826,769	△ 44,569
支払負担金	12,000	12,000	0
講習会費	5,500,000	4,562,082	937,918
WG経費	150,000	65,895	84,105
出版事業費	8,496,000	6,239,519	2,256,481
学会誌	5,680,000	4,231,342	1,448,658
論文誌	1,806,000	1,577,280	228,720
その他刊行費	1,010,000	430,897	579,103
授与費	800,000	818,130	△ 18,130
学会ウェブシステム構築費	1,000,000	990,000	10,000
管理費	9,543,000	9,360,485	182,515
印刷費	8,000	3,976	4,024
消耗品費	70,000	20,988	49,012
諸会費	50,000	55,000	△ 5,000
通信運搬費	300,000	189,655	110,345
情報システム管理費	1,000,000	897,623	102,377
電子広報費	165,000	165,000	0
会議費	200,000	105,794	94,206
支払手数料費	300,000	467,048	△ 167,048
租税公課	450,000	500,233	△ 50,233
事務局運営費	7,000,000	6,955,168	44,832
その他	310,000	0	310,000
雑費	310,000	0	310,000
経常費用計	42,439,300	41,178,463	1,260,837
評価損益等調整前当期経常増減額	336,200	5,249,953	△ 4,913,753
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	336,200	5,249,953	△ 4,913,753
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	336,200	5,249,953	△ 4,913,753
法人税、住民税及び事業税	600,000	565,000	35,000
当期一般正味財産増減額	△ 263,800	4,684,953	△ 4,948,753
一般正味財産期首残高	121,653,429	121,653,429	0
一般正味財産期末残高	121,389,629	126,338,382	△ 4,948,753
II 正味財産期末残高	121,389,629	126,338,382	△ 4,948,753

財産目録

2023年12月31日現在

特定非営利活動法人 日本バーチャルリアリティ学会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)					
預金	普通預金	みずほ銀行本郷支店(2578257)	運転資金として(VRSJ)	24,975,296	
		ゆうちょ銀行〇ー八店(5960736)	運転資金として(IVRC)	18,161,611	
		三菱UFJ銀行本郷支店(4615998)	運転資金として	2,671,373	
		きらぼし銀行春日町支店(4044400)	運転資金として	134,621	
		りそな銀行本郷支店(1749463)	運転資金として	100,333	
		みずほ銀行本郷支店(2677247)	運転資金として	52,434	
		科研費	運転資金として	3,312,048	
		サイバースペースと仮想都市研究委員会	運転資金として	1	
		郵便振替	運転資金として	542,875	
		東京振替貯金局(00120-8-161702)	運転資金として	56,922,889	
		未収金	国際文献社	2023年度会費クレジット決済分	56,922,889
			論文集投稿料	Vol128-4_12件	3,490,950
			講習会費	第23回VR技術者認定講習会試験収入	442,000
		貯蔵品	その他	第28回大会支援費	1,035,000
			1,542,500		
前払金			471,450		
			955,384		
前払費用	㈱河口洋一郎芸術科学研究所	VR学在庫1,010部	955,384		
		教科書表紙画像協力費	200,000		
	さくらインターネット㈱	ドメインサービス利用料	200,000		
			3,258		
			3,258		
流動資産合計				86,547,777	
(固定資産)					
特定資産					
事務局準備金	定期預金	定期預金三菱UFJ銀行本郷支店(4615998)		20,000,000	
		定期預金きらぼし銀行春日町支店(4019664)		10,000,000	
		定期預金みずほ銀行本郷支店(6689991)		10,000,000	
		定期預金りそな銀行本郷支店(4071426)		13,800,000	
		定期預金みずほ銀行本郷支店(6689991)		13,800,000	
		定期預金みずほ銀行本郷支店(6689991)		9,000,000	
		定期預金みずほ銀行本郷支店(6689991)		6,000,000	
		定期預金みずほ銀行本郷支店(6689991)	アート&エンタテインメント研究委員会	1,000,000	
		定期預金みずほ銀行本郷支店(6689991)		2,000,000	
		定期預金みずほ銀行本郷支店(6689991)		1,800,000	
		定期預金みずほ銀行本郷支店(6689991)		1,800,000	
		定期預金みずほ銀行本郷支店(6689991)		1,000,000	
		定期預金みずほ銀行本郷支店(2578257)		1,000,000	
		定期預金みずほ銀行本郷支店(2578257)		1,000,000	
国際会議準備金				1,000,000	
国内会議準備金				1,000,000	
資料編纂・出版準備				1,000,000	
チャイルドケア基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	
I V R C基金				1,000,000	

4. 財務諸表に関する注記

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方法による。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
事務局準備金	20,000,000	0	0	20,000,000
国際会議準備金	13,800,000	0	0	13,800,000
国内会議準備金	9,000,000	0	0	9,000,000
資料編纂・出版準備金	1,800,000	0	0	1,800,000
チャイルドケア基金	0	1,000,000	0	1,000,000
I V R C 基金	0	1,000,000	0	1,000,000
合 計	44,600,000	2,000,000	0	46,600,000

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対する額)
特定資産				
事務局準備金	20,000,000	(0)	(20,000,000)	(0)
国際会議準備金	13,800,000	(0)	(13,800,000)	(0)
国内会議準備金	9,000,000	(0)	(9,000,000)	(0)
資料編纂・出版準備金	1,800,000	(0)	(1,800,000)	(0)
チャイルドケア基金	1,000,000	(0)	(1,000,000)	(0)
I V R C 基金	1,000,000	(0)	(1,000,000)	(0)
合 計	46,600,000	(0)	(46,600,000)	(0)

5. 会計監査報告

特定非営利活動法人日本バーチャルリアリティ学会

会長 竹村 治雄 殿

特定非営利活動法人日本バーチャルリアリティ学会の 2023 年度決算
報告書について監査を実施しました。その結果、帳簿類並びに領収書等
は完備されており、支出ならびに収支決算について適切であると判断い
たしました。

2024 年 2 月 26 日

監事

岩田 洋夫



特定非営利活動法人日本バーチャルリアリティ学会

会長 竹村 治雄 殿

特定非営利活動法人日本バーチャルリアリティ学会の2023年度決算報告書について監査を実施しました。その結果、帳簿類並びに領収書等は完備されており、支出ならびに収支決算について適切であると判断いたしました。

2024年 2月 26日

監事

大須賀 美恵子



第4号議案 2024年度 事業計画

2024年度は学会発足以来29年目であり、これまでの実績に基づいて、より充実した学会運営体制を構築してまいります。おもな事業として、第29回大会を 名城大学天白キャンパスで開催致します。これまで以上に会員サービスの一層の充実を図るとともに、学会の基盤をさらに固めるために、会員数の増加を推進致します。

1. 会員に関する事項

2024年度は、学会が発足後29年目であり、一層充実した組織体制を構築する必要があります。このため、会員増を目指した積極的な勧誘を継続的に実施いたします。学会WEBページでの入会受け付けなどにより、入会希望者の便を図るとともに、賛助会員についても関連団体・企業の新規加入を目指して努力いたします。2024年度の目標を次表に示します。また、定款第9条に従い、所定の手続きの上、正会員39名、学生会員7名を資格喪失(会費未納入)とします。

	正会員	学生会員	賛助会員
2023年度末数	1152	577	41
2024年度目標数	1162	590	43

2. 広報・出版に関する事項

(1) 学会誌

2024度は、第29巻として、3, 6, 9, 12月の年4回の発行を予定しており、特集として以下の企画と、名城大学天白キャンパスで行われる第29回大会報告を予定しています。

	特集内容
Vol.29, No.1	VRにおける香り・味の提示
Vol.29, No.2	分解のススメ
Vol.29, No.3	VRを発展させる光学
Vol.29, No.4	第29回 大会報告

(2) 論文誌

2024度も、論文誌は年4回(3, 6, 9, 12月)発行します。会員からの投稿論文(基礎論文、応用論文、コンテンツ論文、ショートペーパー)および、特定のトピックスに焦点をあてた専門家による総説論文を対象とします。また、毎号特集テーマを決め、ゲストエディタをお願いして、特集論文の投稿を積極的に勧誘します。尚、今後の特集内容は以下を企画しております。

	特集内容
Vol.29, No.1	VR心理学9
Vol.29, No.2	質感
Vol.29, No.3	メタバースとVR
Vol.29, No.4	マルチモーダル/クロスモーダル

(3) 文化・芸術

・東京都現代美術館の森山先生より坂本龍一「音を視る 時を聴く(2024年12月21日(土)－2025年3月30日(日))」と掛け合わせたVR文化フォーラムを2024年度も是非とお声かけ頂いております。
・他にもいくつかの候補地を選定中です。

(4) ニュースレター

バーチャルリアリティに関する有益な情報を整理してニュースレター形式に編集し、月に1回、電子メールにて会員に送付します。またホームページでも会員向けに最新のニュースレターを掲載します。

内容は、2023度に続き「1. 報告集 2. 学会からのお知らせ 主催・共催行事のご案内／協賛行事のご案内／論文誌に関するご案内 3. 関連情報 CALL FOR PAPER／CALL FOR PARTICIPATION／ニュースレター編集委員会からのお知らせ」などで構成されます。

本学会員が国内外のバーチャルリアリティの動向や進行中のアクティビティを的確に把握できるよう努め、多様なイベントにあわせて随時特集を掲載、会員サービスの向上を目指して刊行いたします。

(5) 電子広報

取材や問い合わせに対応しています。

また、学会ホームページにて、年次大会、VR技術者認定制度、各種会議、論文誌特集等の情報を随時更新しております。(https://www.vrsj.org/)

- (6) 出版
教科書「バーチャルリアリティ学」を補足する分冊シリーズとして、「バーチャルリアリティ学ライブラリ」が進行中です。
 ・ 「ヘッドマウントディスプレイ最前線」 2024年9月発行計画
 ・ 「神経刺激インタフェース」 2024年3月発行, 定価2,970円(本体2,700円+税)
 ・ 「XRと拡張認知インタフェース」 執筆中
 ・ 「アートとエンタテインメント」 執筆中

3. 主催・共催事業に関する事項

2024年度は以下の事業を予定しております。(■主催事業・□共催事業)

■第29回日本バーチャルリアリティ学会大会:

- ・ 2024年9月11日(水)-13日(金)
- ・ 名城大学天白キャンパス
- ・ 大会長:柳田 康幸(名城大学)

■ICAT-EGVE 2024

- ・ 開催日:1 - 3 December, 2024
- ・ 開催地:Tsukuba, Japan
- ・ General Chair:Hiroaki Yano - Tsukuba University, Japan

□AsiaHaptics

- ・ 隔年開催のデモ中心の国際会議。2024年はマレーシアで開催予定。
- ・ 開催日(予定):2024年10月28日 - 30日
- ・ 会場(予定):Sunway University, Kuala Lumpur, Malaysia
- ・ General co-chairs:Masashi Konyo(Tohoku University), Kian Meang Yap(Sunway University)

■第32回 IVRC (Interverse Virtual Reality Challenge)

- ・ 4月 事前説明会
- ・ 9月 SEED STAGEをVR学会大会@名城大学で開催予定
- ・ 11月 LEAP STAGEを東京で開催予定

□高臨場感ディスプレイフォーラム2024

- ・ 調整中

4. 企画事業に関する事項

2024年度は以下の企画を予定しております。

(1) 研究委員会:

各研究委員会は、本年度計16の研究委員会が下表のように会員に公開する研究会(含、他学会との共催), OS, 講演会, シンポジウム, 書籍編集などの実施を予定しています。

研究委員会名	研究会等開催回数	備考
サイバースペースと仮想都市研究委員会	5	継続
複合現実感研究委員会	4	継続
アート&エンタテインメント研究委員会	2	継続
VR心理学研究委員会	2	継続
トレイマージョン技術研究委員会	4	継続
香り・味と生体情報研究委員会	4	継続
拡張認知インタフェース調査研究委員会	4	継続
ハプティクス研究委員会	3	継続
情報技術と文化の融合調査研究委員会	3	継続
デジタルミュージアム研究委員会	1	継続
VRと超臨場感研究委員会	3	継続
トレイグジスタンス研究委員会	2	継続
超高齢社会のVR活用研究委員会	2	継続
人間拡張研究委員会	4	継続

神経刺激インターフェース研究委員会	3	継続
サービスVR研究委員会	1	継続

(2) VR技術者認定講習会・試験

第24回(セオリーコース)

講習会 2024年6月15日(土)オンライン

試験 2024年7月13日(土)オンライン 最大300名まで受験可能とする予定です。

第25回(アプリケーションコース)

講習会 2024年11月9日(土)オンライン

試験 2024年12月7日(土)オンライン 最大150名まで受験可能とする予定です。

(3) 各種ワーキンググループ

未来ビジョンワーキンググループ・倫理ワーキンググループ・ホームページ刷新ワーキンググループの活動を進める予定です。

5. 会議に関する事項

(1) 総会

2024年通常総会を3月26日に東京大学で行います。

(2) 理事会

合計6回(1月, 3月, 5月, 7月, 9月, 11月)の理事会を開催する予定です。

尚, 理事会のない月に会長・副会長及び総務・会計担当者による総務会議を開催する予定です。

(3) 評議員会

合計2回の評議員会を開催する予定です。

回	開催日	会場	主な議事
1	3月26日	東京大学	年間報告・計画について
2	9月11日	名城大学	年間報告・計画について

6. 表彰に関する事項

(1) フェロー

会長を委員長とするフェロー選考委員会を組織し, 2024年フェロー称号の授与者を決定する予定です。

(2) 研究業績賞

授与対象者の検討をし, 対象者がいる場合に贈呈する予定です。

(3) 論文賞

論文誌Vol.28, No.1 からVol.28, No.4に掲載された論文の中から優秀な論文を選考し, 5件程度の論文に論文賞を贈呈する予定です。

(4) 学術奨励賞

第29回日本バーチャルリアリティ学会大会で優秀な発表を行った若手講演者に対して, 学術奨励賞を贈呈する予定です。

第5号議案

2024年度 収支予算

収支予算案

2024年 1月 1日から2024年12月31日まで

特定非営利活動法人 日本バーチャルリアリティ学会

科 目	2023年度予算額	2023年度決算額	2024年度予算案		
			各科目予算	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取入会金	900,000	936,000	900,000	0	900,000
受取会費	17,037,000	17,042,000	17,214,000	0	17,214,000
正会員会費(普通会員)	10,110,000	9,944,000	10,180,000	0	10,180,000
正会員会費(上級会員)	330,000	320,000	320,000	0	320,000
正会員会費(減免会員)	115,000	130,000	125,000	0	125,000
学生会員会費	1,812,000	1,853,000	1,984,000	0	1,984,000
賛助会員会費	4,100,000	4,000,000	4,100,000	0	4,100,000
一般会員会費	40,000	330,000	40,000	0	40,000
購読会員会費(書店)	80,000	90,000	90,000	0	90,000
購読会員会費(図書館)	450,000	375,000	375,000	0	375,000
受取寄附金	0	0	0	0	0
受取助成金	0	0	0	0	0
事業収入	24,682,500	28,049,603	35,501,300	△ 1,100,000	34,401,300
年次大会	8,745,000	15,094,650	12,500,000	0	12,500,000
IVRC	2,700,000	3,500,035	2,700,000	0	2,700,000
AsiaHaptics	0	0	5,424,000	0	5,424,000
ICAT	0	0	2,812,800	0	2,812,800
科研費助成金	0	0	0	0	0
研究委員会活動収入	547,500	928,058	1,974,500	△ 1,100,000	874,500
通常総会収入	80,000	60,000	80,000	0	80,000
講習会収入	5,600,000	3,454,120	4,000,000	0	4,000,000
出版収入	7,010,000	5,012,740	6,010,000	0	6,010,000
過去会誌頒布収入	10,000	0	10,000	0	10,000
論文誌投稿料収入	5,000,000	4,240,000	5,000,000	0	5,000,000
その他出版物収入	2,000,000	772,740	1,000,000	0	1,000,000
その他収入	156,000	400,813	156,000	0	156,000
雑収入	155,000	399,920	155,000	0	155,000
受取利息	1,000	893	1,000	0	1,000
経常収益計	42,775,500	46,428,416	53,771,300	△ 1,100,000	52,671,300
(2) 経常費用					
事業費	32,586,300	31,817,978	42,733,050	△ 1,100,000	41,633,050
通常総会費	300,000	375,040	400,000	0	400,000
年次大会	9,800,000	12,516,044	9,000,000	0	9,000,000
IVRC	4,746,100	4,412,499	4,746,100	0	4,746,100
AsiaHaptics	0	0	5,424,000	0	5,424,000
ICAT	0	0	2,645,750	0	2,645,750
科研費	0	0	0	0	0
研究委員会活動費	1,782,200	1,826,769	2,039,200	0	2,039,200
支払負担金	12,000	12,000	12,000	0	12,000
講習会費	5,500,000	4,562,082	5,000,000	0	5,000,000
研究部会費	0	0	1,100,000	△ 1,100,000	0
WG経費	150,000	65,895	150,000	0	150,000
出版事業費	8,496,000	6,239,519	9,016,000	0	9,016,000
学会誌	5,680,000	4,231,342	6,750,000	0	6,750,000
会議費	0	0	0	0	0
通信運搬費	800,000	924,842	900,000	0	900,000
印刷製本費	2,000,000	2,246,310	2,200,000	0	2,200,000
諸謝金	380,000	325,610	350,000	0	350,000
委託費	2,500,000	734,580	3,300,000	0	3,300,000
論文誌	1,806,000	1,577,280	1,606,000	0	1,606,000
会議費	0	0	0	0	0
通信運搬費	3,000	84	3,000	0	3,000
印刷製本費	3,000	0	3,000	0	3,000
委託費	1,800,000	1,577,196	1,600,000	0	1,600,000
その他刊行物	1,010,000	430,897	660,000	0	660,000
通信運搬費	10,000	0	10,000	0	10,000
印刷製本費	1,000,000	430,897	500,000	0	500,000
雑費	0	0	150,000	0	150,000
授与費	800,000	818,130	800,000	0	800,000
学会ウェブシステム構築費	1,000,000	990,000	2,000,000	0	2,000,000
チャイルドケア経費	0	0	400,000	0	400,000
管理費	9,543,000	9,360,485	9,578,000	0	9,578,000
印刷費	8,000	3,976	8,000	0	8,000
消耗品費	70,000	20,988	50,000	0	50,000
諸会費	50,000	55,000	55,000	0	55,000
通信運搬費	300,000	189,655	250,000	0	250,000
情報システム管理費	1,000,000	897,623	1,000,000	0	1,000,000
電子広報費	165,000	165,000	165,000	0	165,000
会議費	200,000	105,794	200,000	0	200,000
支払手数料費	300,000	467,048	400,000	0	400,000
租税公課	450,000	500,233	450,000	0	450,000
事務局運営費	7,000,000	6,955,168	7,000,000	0	7,000,000
その他雑費	310,000	0	310,000	0	310,000
経常費用計	42,439,300	41,178,463	52,621,050	△ 1,100,000	51,521,050
評価損益等調整前当期経常増減額	336,200	5,249,953	1,150,250	0	1,150,250
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	336,200	5,249,953	1,150,250	0	1,150,250
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0			0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0			0
当期経常外増減額	0	0			0
税引前当期一般正味財産増減額	336,200	5,249,953			1,150,250
法人税、住民税及び事業税	600,000	565,000	600,000		600,000
当期一般正味財産増減額	△ 263,800	4,684,953			550,250
一般正味財産期首残高	121,653,429	121,653,429			126,338,382
一般正味財産期末残高	121,389,629	126,338,382			126,888,632
Ⅲ 正味財産期末残高	121,389,629	126,338,382			126,888,632

第6号議案 2024年度 理事および監事の選出

本会定款第13条に従って、2024年度理事および監事の選出を行います。

役員候補者選出選挙で選出された理事および監事の候補者は以下の通りです。

■ 会長		
任期2年（新任 任期2026年3月まで）		
池井 寧	東京大学	1988年東京大学大学院工学系研究科産業機械工学専攻博士課程修了（工学博士）。東京都立科学技術大学工学部、首都大学東京大学院システムデザイン研究科、東京都立大学を経て、2020年東京大学特任教授、現在東京大学大学院情報理工学系研究科教授。視覚、聴覚、固有感覚、皮膚感覚、前庭感覚、嗅覚を提示する多感覚情報のバーチャルリアリティ、身体的超臨場感、認知工学インタフェース、XRテレプレゼンスシステムなどの研究に従事。学会設立時からニューズレター、総務などの理事を多数年担当。2008、2013～15、2019～23年度評議員、ウェアラブル／アウトドアVR研究委員会委員長、ウェアラブル／ユビキタスVR研究委員会委員長、拡張認知インタフェース調査研究委員会委員長、VRと超臨場感研究委員会委員長、2023年第28回VR学会年次大会長を担当。VR学会論文賞、貢献賞ほか受賞。ヒューマンインタフェース学会、日本機械学会、IEEE、ACM、情報処理学会、ロボット学会などの会員。本学会フェロー。2017～18年度副会長
■ 副会長		
任期1年（非改選 任期2025年3月まで）		
串山 久美子	東京都立大学	1982年武蔵野美術大学建築学科卒業、1984年筑波大学大学院芸術研究科修了、メディア制作を業務とする株式会社グロースを起業、1992年より武蔵野美術大学、早稲田大学、千葉大学非常勤講師、2005年JSTさきがけ研究員、東京農工大学客員教授を経て2006年より首都大学東京システムデザイン研究科教授に就任。博士（デザイン学）情報処理学会DCON編集委員。専門はインタラクティブアート＆デザイン、バーチャルリアリティ、触視覚ディスプレイの開発と研究。L5Gを使用した車いすARプロジェクト。1981年よりメディアアート作品発表、2000年よりSIGGRAPH Art Gallery, Emerging Technology やArs Electronicaなどに数多く出展。2021-22年度理事
任期2年（新任 任期2026年3月まで）		
柳田 康幸	名城大学	1988年東京大学工学部計数工学科卒業、1990年同大学院工学系研究科計数工学専攻修士課程修了、同年東京大学助手。2001年（株）国際電気通信基礎技術研究所（ATR）研究員、2003年同主任研究員。2005年名城大学理工学部教授、2022年同情報工学部教授、現在に至る。博士（工学）。本学会2006～2009、2012～2015年度（広報・出版総務担当）、2018～2021年度（論文誌担当）理事、第1、2、7、9、18、19回大会実行委員、1996～2001年ニューズレター編集委員、2003～2006年同幹事（現顧問）、2008年～2016年企画委員、2006～2020年IVRC運営委員、2007～2023年ICAT運営委員、2013～2017年度論文委員、2010～2011、2016～2017、2022～2023年度評議員、2011～2013年香り・味と生体情報研究委員会副委員長、2014年～2019年同委員長、2020年より同顧問などを務める。レイグジスタンス、触覚・嗅覚を含む感覚ディスプレイ技術などの教育研究に従事。
■ 理事		
任期1年（非改選 任期2025年3月まで）		
稲見 昌彦	東京大学	1994年東京工業大学生命理工学部生物工学科卒業。1996年同大学大学院生命理工学研究科修士課程修了。1999年東京大学大学院工学研究科博士課程修了。博士（工学）。同年東京大学リサーチ・アソシエイト、2001年同大学助手、2003年電気通信大学知能機械工学科講師、2005年同大学助教授、2006年同大学教授。JSTさきがけ研究者、MITコンピュータ科学・人工知能研究所客員科学者を経て、2008年慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授。2015年11月東京大学大学院情報理工学系研究科教授、2016年4月より同大学先端科学技術研究センター教授、現在に至る。同大学VR教育研究センター応用展開部門長を兼任。JST ERATO 稲見自在化身体プロジェクト研究総括、IPA未踏PM、日本学術会議連合会員。1995年よりIVRC実行委員、2017-2019年同運営委員会委員、2020年より同実行委員長、2017-2019年及び2021-2023年ICAT運営委員会委員、2019-2020年同General Chair、2023年より同運営委員、2004-2005年日本VR学会大会幹事、2008-2011年及び2017-2019年同学会評議員、2012-14年及び

		2021年より同学会理事, 2021年度フェロー, 2023年より人間拡張研究委員会 委員長. 2014年より超人スポーツ協会 代表理事, 2018-2022年情報処理学会学会誌情報処理編集長, 2019年より同学会代表会員, 2020年より同学会シニア会員, 2022年より同学会理事, 経営企画委員会 委員, 広報小委員会 委員, SIGGRAPH2016 Etech Chair, ICAT-EGVE2019 General Chair等歴任. 【国際担当】
岩井 大輔	大阪大学	2003年大阪大学基礎工学部システム科学科卒業. 2005年同大学院基礎工学研究科博士前期課程修了. 2006～2008年日本学術振興会特別研究員. 2007年同大学院博士後期課程修了. 博士(工学). 2008年同大学院助教. 2011年同大学院講師. 2013年同大学院准教授. この間, 2007～2008年ドイツ・バウハウス大学客員研究員, 2011年スイス・ETH客員研究員. バーチャルリアリティ, 複合現実感, 質感科学の研究に従事. 本学会では, 複合現実感研究委員会幹事のち副委員長(2015～現在), アート&エンタテインメント研究委員会幹事補佐のち幹事(2009～2020), 論文委員(2012～2018), 学会誌委員(2012～2016)を務める. 【会計担当】
北崎 充晃	豊橋技術科学大学	1992年東京大学文学部心理学専修課程卒業, 1997年同大学院総合文化研究科広域科学専攻博士課程修了. 博士(学術). 1997-2000年同大学院人文社会系研究科助手, 2000 年より豊橋技術科学大学工学部講師, 助教授, 准教授を経て, 現在は同大学大学院工学研究科情報・知能工学系教授. 2005～2022年日本心理学会専門別議員. 2023年より日本心理学会地域別議員. 2014年より日本基礎心理学会理事. 2017年より日本視覚学会幹事. バーチャルリアリティと心理学の融合領域研究に従事. 【広報出版担当】
小泉 直也	電気通信大学	2012年慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科後期博士課程修了. 博士(メディアデザイン学). 日本学術振興会特別研究員PD, 東京大学情報学環研究員を経て, 現在, 電気通信大学情報理工学研究科准教授. 知覚作用インタフェース, 空中像光学系やクロミック作用を利用したディスプレイの研究に従事. 【学会誌担当】
半田 拓也	NHK 放送技術研究所	2001 年, 電気通信大学大学院電子工学専攻修了. 同年, NHK 入局. 岡山放送局を経て, 2005年より, 放送技術研究所においてユニバーサルサービス, 触覚インタフェース, AR/VRなどの研究に従事. 現在, NHK放送技術研究所空間表現メディア研究部チーフ・リード. 同学会ハプティクス研究委員会委員. 2020年, 東京大学大学院新領域創成科学研究科複雑理工学専攻修了. 博士(科学). 【ニューズレター担当】
安藤 英由樹	大阪芸術大学	1974年生まれ. 1999年愛知工業大学大学院工学研究科修士課程電気電子工学専攻修了, 2000年理化学研究所ジュニア・リサーチ・アソシエイト, 2001年科学技術振興事業団「協調と制御」領域前田研究室研究員, 2003年株式会社エーアイ技術員, 2004年東京大学情報理工学研究科論文博士(情報理工学)取得. 2004年NTTコミュニケーション科学基礎研究所研究員(RA・RS)を経て, 2008年大阪大学大学院情報科学研究科バイオ情報工学専攻准教授を経て, 2020年より大阪芸術大学アートサイエンス学科教授. 人間情報工学を専門とし, 錯覚を用いた非言語的インタフェースなどを研究するかたわら, 専門領域を題材とした作品制作にも意欲的に取り組む. 2008年文化庁メディア芸術祭アート部門優秀賞, Prix Ars Electronica 2009ならびに2011 Interactive Art部門でHonorary Mention受賞. 【文化・芸術担当】
嵯峨 智	熊本大学	1975年生まれ. 2000年東京大学大学院 計数工学専攻 博士前期課程 修了, 2000年 セコムIS研究所 研究員, 2007年 東京大学大学院 情報理工学系研究科システム情報学専攻 博士後期課程 修了 博士(情報理工学), 2007年 東北大学大学院 工学研究科 バイオロボティクス専攻 助教, 2008年 東北大学大学院 情報科学研究科 システム情報科学専攻 助教, 2012年 マサチューセッツ工科大学 客員助教 兼任, 2013年 筑波大学 システム情報系 情報工学域 准教授, 2017年 熊本大学 大学院先端科学研究部 環境科学部門 知能情報工学分野 准教授. 人間の機能拡張をキーワードとして掲げ, 主に触覚を中心としたインタフェースの研究に従事. 2015年, 2016年 本学会年次大会幹事. 2021年-2023年本学会ハプティクス研究会委員長. 2022年より本学会学会誌委員会幹事. 【研究運営委員会担当】
橋田 朋子	早稲田大学	2003年東京藝術大学音楽学部楽理科卒業, 2008年東京大学大学院学際情報学府博士課程単位取得退学. 博士(学際情報学). 東京大学 特任研究員, 早稲田大学理工学術院 基幹理工学部表現工学科 専任講師, 准教授を経て2021年より同

		教授. モノに潜在する機能や価値を引き出すインタフェースや, 人の想像する力にゆだねるメディアの研究・開発に従事.【文化・芸術担当】
吉田 ひさよ	ヘキサゴンジャパン株式会社	ヘキサゴンジャパン株式会社 取締役/日本代表. 1993年米国・オハイオ州立大学大学院留学. 学際研究所 Advanced Computing Center for the Arts & Design (ACCAD)に属し, 認知工学, 人間工学, CG, VR 等を学びながら研究助手として 3D CG 用インハウスソフトウェアの GUI 設計・デザインに従事. 帰国後は日本ヒューレット・パッカード社, クリスティ・デジタル・システムズ日本支社でマーケティングやプリセールス等の業務を担当し, 2017 年 6 月より現職. プロジェクションマッピングブームを日本市場に仕掛けるなど, 映像関連のビジネス企画立ち上げを得意とする. 1998年~2003 年多摩美術大学グラフィックデザイン学科非常勤講師. 海外のメディアアーティスト, CGデザイナー&アニメーター, プロジェクションマッピングディレクター等の講演通訳の経験多数. 本学会では理事(2015年~2018年【企業・学会リエゾン】担当)【VR技術者認定担当】
任期2年 (改選 任期2026年3月まで)		
大谷 智子	大阪芸術大学	2004年聖心女子大学大学院文学研究科人間科学専攻博士後期課程単位取得満期退学. 東京大学大学院情報学環特任助教, 東京大学インテリジェントモデリングラボラトリー特任研究員, 東北大学電気通信研究所助教, 東京藝術大学芸術情報センター助教, 明治大学総合数理学部助教を経て, 2023年度から大阪芸術大学芸術学部アートサイエンス学科准教授. 博士(心理学). 近年は, 錯視ブロックを用いた二次元平面と三次元立体の対応に関する研究や鏡面消失錯覚に関する研究, 当該分野の一般社会への理解増進事業等を行っている. 本学会では, 理事(2016~2018年度学会誌担当, 2022年度~総務担当), 学会誌編集委員(2015~2017年9月はVRメディア評論担当, 2016~2018年度副編集委員長, 2019年度編集委員長, 2020年度~アドバイザー), 情報技術と文化の融合調査研究委員会(2007年~2023年幹事, 2024年~副委員長)を務める.【総務担当】
木村 朝子	立命館大学	1996年大阪大学基礎工学部卒. 1998年同大学院基礎工学研究科博士前期課程修了. 2000年同大学助手, 2003年立命館大学理工学部助教授, 科学技術振興機構さがけ研究員等を経て, 2009年立命館大学情報理工学部准教授, 2012年より同教授. 現在に至る. 博士(工学). 実世界指向インタフェース, 複合現実感, クロスモーダルインタフェース, ハプティックインタフェースの研究に従事. 日本バーチャルリアリティ学会, 情報処理学会, 電子情報通信学会, ヒューマンインタフェース学会, ACM, IEEE各会員. 本学会では, 論文委員(2008~2011), 会誌委員(2008~2011)を務める.【論文誌担当】
古川 正紘	大阪大学	2005年電気通信大学電気通信学部知能機械工学科卒業. 2010年電気通信大学大学院電気通信学研究科博士後期課程修了. 2010年3月博士(工学). 日本学術振興会特別研究員(DC2). 2011年慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科特任助教, 2014年大阪大学大学院情報科学研究科助教, 科学技術振興機構さがけ研究員を経て, 2020年同准教授, 現在に至る. テレイグジスタンス, 錯覚利用インタフェース, 歩行誘導, 皮膚触覚の研究に従事. 2007年より日本バーチャルリアリティ学会に所属し, 2009-2013ニューズレター編集委員, 2014-テレイグジスタンス研究委員会幹事, 2016-論文誌委員会委員, 2018-VR技術者認定制度委員会幹事を務める.【VR技術者認定担当】
松田 克巳	株式会社フォーラムエイト	1998年龍谷大学経営学部経営学科卒業. 同年(株)フォーラムエイト入社. 2013年執行役員システム営業マネージャに就任. VR, FEM, 設計関連パッケージを活用した各種システム構築に従事し, 現在に至る. 建設・自動車等の業界を中心に各種ハードウェア・ソフトウェアとVRソフトウェアを連携したシステム構築を多数手がける. VRソフトウェア(UC-win/Road)にて2019年度ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞を構成員として受賞. 2019年11月第17回バーチャルリアリティ技術者認定講習会(アプリケーションコース)「第7章 VRコンテンツ」講師担当.【大会担当】
任期2年 (新任 任期2026年3月まで)		
雨宮 智浩	東京大学	2002年東京大学工学部機械情報工学科卒業, 2004年同大学大学院情報理工学系研究科修士課程修了, 2004~2019年日本電信電話株式会社コミュニケーション科学基礎研究所研究員. 2014~2015年ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン(UCL)認知神経科学研究所客員研究員. 2019年東京大学大学院情報理工学系研究科准教授, 2023年東京大学情報基盤センター教授, 東京大学バーチャルリアリティ教育研究センター教授(兼務), 現在に至る. 博士(情報科学). 触知覚特性や身体感覚の錯覚を利用した情報提示インタフェースの研究に従事. 2019~

		2022年及び2024年よりヒューマンインタフェース学会理事。本学会では、2017年～2021年理事(会計担当), ニュースレター編集委員会幹事(2010～2014年), 論文委員(2015～2020年), VRと超臨場感研究委員会(2021年～副委員長), メタバース/VR研究委員会(2021年～副委員長)などを務める。【総務担当】
金 じょんひょん	株式会社博報堂	博報堂入社後、研究開発部門を経験し、現在はブランド・イノベーションデザイン局に在籍しながら、テクノロジーを起点とする新しい体験のプロダクト・サービス・研究などの開発業務をメインに従事。クロスモーダルデザインWS幹事、Affective Media WS幹事、文部科学省科学技術・学術政策研究所専門調査員。CES Innovation Awards受賞、Innovative Technologies受賞、Google android object グランプリ受賞、d&ad 受賞、Good Design受賞。経産省主催電子レシートアプリコンテスト審査委員、CODE AWARD 審査委員。【学会誌担当】
清川 清	奈良先端科学技術大学院大学	1994年大阪大学基礎工学部情報工学科三年次中途退学。1996年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士前期課程修了。1998年同博士後期課程修了。1998年日本学術振興会特別研究員。1999年通信総合研究所(現・情報通信研究機構)研究官。2001年ワシントン大学ヒューマンインタフェーステクノロジー研究所客員研究員。2002年大阪大学サイバーメディアセンター助教授。2007年同准教授。2017年奈良先端科学技術大学院大学教授。現在に至る。博士(工学)。本学会では、学会誌委員、論文誌委員、企画委員、情報システム委員、ICAT運営委員、広報・出版委員、アジアグラフ運営委員、10周年記念委員、3次元ユーザインタフェース研究委員会委員、複合現実感研究委員会委員(現顧問)、第18回大会幹事、フェロー。バーチャルリアリティ、拡張現実、人間拡張、3次元ユーザインタフェース、CSCW、コンテキストアウェアネスなどの研究に従事。IEEE VR, IEEE ISMAR, ICAT, APMARなどのSteering Committee委員。IEEE TVCG Associate Editor in Chief。IEEE VGTC Virtual Reality Academy 会員(創設メンバー)。【論文誌担当】
杉本 麻樹	慶應義塾大学	2000年千葉工業大学工学部電子工学科卒業。2002年同大学大学院工学研究科博士前期課程修了。2006年電気通信大学大学院電気通信学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。東京大学大学院情報学環研究補佐員, NTT CS研客員研究員, 日本学術振興会特別研究員(DC1/PD), MITコンピュータ科学・人工知能研究所訪問研究員, 電気通信大学電気通信学部知能機械工学科特任助教, 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科特別研究講師, 慶應義塾大学理工学部情報工学科専任講師・准教授, CMUロボティクス研究所訪問研究員などを経て、現在、慶應義塾大学理工学部情報工学科教授。株式会社EVISION取締役。バーチャルリアリティ環境における組み込み型センサを活用したユビキタス光センシングとサイバーフィジカル空間における人間拡張の研究に従事。これまでに本学会では広報・出版委員会委員, 論文誌委員会委員, 人間拡張研究委員会幹事などを務めている。また、関連分野の国際会議においても SIGGRAPH Asia 2021 XR Co-Chair, ICAT-EGVE2022 General Chair, IEEE VR 2022 Conference Paper Chair, ACM TEI 2023 Program Chair, ISMAR 2024 Program Chairなどを務めている。【研究運営委員会担当】
■ 監 事		
任期1年 (非改選 任期2025年3月まで)		
大須賀 美恵子	大阪工業大学	1957 年兵庫県生まれ。1979 年東京大学工学部計数工学科卒業, 同年, 三菱電機株式会社入社。中央研究所, 先端技術総合研究所にて生理心理工学分野の研究, バーチャルリアリティ応用を含むウェルネスシステム開発に従事。1994 年博士(工学)。2002 年大阪工業大学情報科学部情報メディア学科教授, 2006 年同大学工学部生体医工学科教授, 2010 年同大学工学部ロボット工学科教授, 2017～2020 年同大学ロボティクス&デザイン工学部学部長・ロボット工学科教授。2021～同学部システムデザイン工学科特任教授, 2002～2005 年本学会理事。2018 年～本学会副会長, 2020～2021本学会会長,
任期2年 (改選 任期2026年3月まで)		
岩田 洋夫	筑波大学	1957年東京生まれ。1981年 東京大学工学部機械工学科卒業, 1986年 東京大学大学院工学系研究科修了(工学博士), 同年筑波大学構造 工学系助手。現在筑波大学システム情報系教授。バーチャルリアリティ, 特にハプティックインタフェース, ロコモーションインタフェース, 没入ディスプレイの研究に従事。SIGGRAPHのEmerging Technologiesに1994年より14年間続けて入選。東京テ

		クノフォーラム・ゴールドメダル賞(1998年), 文化庁メディア芸術祭優秀賞(2002年), 文部科学大臣表彰 科学技術賞(2011年)などを受賞. 2013年～2020年, 筑波大学グローバル教育院 エンパワメント情報学プログラムリーダー. 1996年～2007年本学会理事. 2010年～2013年本学会副会長. 2016年～2019年本学会会長.
--	--	--

202年3月をもって退任する役員は以下の6名です

会長	竹村 治雄
副会長	相澤 清晴
理事	黒田 嘉宏・永谷 直久・鳴海 拓志・野嶋 琢也

以上